

一般廃棄物・産業廃棄物処理施設維持管理記録簿 [管理型] (平成 22年 7月度)

対象期間:平成 22年 7月 1日 ~ 平成 22年 7月 31日

埋立産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の3 7イ]

種 類		数量(単位)
一 般 廃 棄 物	焼却灰	4446.57 (t /月)
	ごみ	1696.53 (t /月)
	特定一般廃棄物(焼却灰)	(t /月)
	特定一般廃棄物(ごみ)	(t /月)
	一般廃棄物 小計	6143.10 (t /月)
産 業 廃 棄 物	燃え殻	291.89 (t /月)
	污泥	534.81 (t /月)
	廃プラスチック	579.19 (t /月)
	廃プラスチック(非飛散性)	(t /月)
	紙くず	4.26 (t /月)
	木くず	(t /月)
	繊維くず	(t /月)
	動植物性残さ	(t /月)
	金属くず	12.77 (t /月)
	ガラス陶磁器くず	879.36 (t /月)
	ガラス陶磁器くず(非飛散性)	40.59 (t /月)
	鋳さい	2211.55 (t /月)
	がれき類	237.69 (t /月)
	がれき類(非飛散性)	(t /月)
	動物の死体	(t /月)
	ばいじん	34.67 (t /月)
	処分するために処理したもの(13号廃棄物)	(t /月)
	廃石綿等(特別管理廃棄物)	84.25 (t /月)
	特定産業廃棄物(燃え殻)	(t /月)
	特定産業廃棄物(污泥)	(t /月)
	特定産業廃棄物(ばいじん)	(t /月)
	産業廃棄物 小計	4911.03 (t /月)
合 計		11054.13 (t /月)

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[規12条の7の3 7ニ及びホ]

地下水等		放流水
採取日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
採取場所	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	計量証明の添付	計量証明の添付
異常の有無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な処置を講じた年月日とその内容(異常が認められた場合記入すること)		

水質検査の実施状況と措置(月1回測定)[規12条の7の3 7ニ及びホ]

地下水等		放流水
採取場所	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水
採取日	平成 22年 7月 28日	平成 22年 7月 28日
分析結果が得られた日	平成 22年 8月 5日	平成 22年 8月 5日
電気伝導率	72.3 ms/m	80.0 ms/m
塩化物イオン濃度	50.0 ppm	4.3 ppm
水素イオン濃度		7.56 pH
生物化学的酸素要求量		0.6 ppm
化学的酸素要求量		6.3 ppm
浮遊物質量		1未満 ppm
窒素含有量		0.1 ppm
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置を講じた日付けとその内容(異常が認められた場合記入すること)		

残余の埋立容量測定「規12条の7の3 7

計測日	残余容量(m³)
平成22年6月30日	1,122,790

施設の点検「規12条の7の3 7ロ、ハ、ヘ及びト」

擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 22年 7月 28日	平成 22年 7月 28日	平成 22年 7月 28日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置が講じた年月日とその内容(異常が認められた場合のみ記入すること)			

※ 保有水等の導水管、浸出液処理設備の配管の防凍の為の対策について、当施設は標高1000mに位置している。その為、冬季の気温低下を考慮し埋設配管にて設置している。